

## 公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	ASIS					公表日	2026年2月15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	人数が多すぎる時は、大部屋と中部屋でプログラムの場所を交換している		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・適宜相談しつつ進めている。 ・プログラムを担当する職員とは別に、個々の様子に合わせてサポートできる職員配置になっている。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	洗面所やカウンター前など、伝えたい部分は注意書きをして視覚支援を使っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日掃除と消毒を徹底している。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	休憩や相談、個別課題など、必要に応じて個室を使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日ミーティングを行い、振り返りと改善を話し合っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・毎月、全体MTと専門職MTを行っており、意見を伝え合う場所がある。 ・定期的に面談をしている。		

9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		第三者委員会を設置することを課題としています。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が望むと研修に参加できる環境がある。</li> <li>定期的に外部へ研修を受けに行っている。その内容を事業所内で報告、共有している。</li> </ul>	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月、先月や今までを踏まえて支援のためのプログラムを考えている。</li> <li>児童のニーズに合わせて内容を変えながら、毎月スケジュールを配布している。</li> </ul>	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に意向をヒアリングしながら作成している</li> <li>毎朝ミーティングを行い、職員間での見立ての共有を行い、それを支援に繋げられている。</li> <li>特に子供のニーズを引き出すことに力を入れている</li> <li>児童と個別に話す機会を作り、モニタリングで保護者と児童の意向を確認している。</li> <li>計画については、全職員で話し合って作成している。</li> </ul>	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	計画作成後は全体で共有を行い、指導員の考えが反映されている。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画作成後にも共有を行い、専門計画は毎朝その日のプログラムで実行できるかを支援内容を踏まえて考えている。</li> <li>毎日のミーティングで確認しながら個々の計画に合わせて支援を行っている。</li> </ul>	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	必要に応じてWISCや新版K式発達検査の結果を確認して、アセスメント及び支援内容に反映させている。	

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	3つについて具体的な支援内容を全員で考えている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	毎朝ミーティングで検討している。 全職員で話し合って決めている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	毎月全員で検討している。 児童のニーズや状況に合わせて変更している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて個別対応を使いつつ、その児童の特性に応じて小集団や短時間での活動から参加する等、スマールステップでその児童に合った支援が行われている。</li> <li>集団活動に入りやすいように、個別活動でまず練習ステップを踏むこともしている</li> </ul>	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎朝のミーティングで行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>翌日の朝のミーティングで行っている。</li> <li>気になった点はその都度共有している。</li> </ul>	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングの議事録やHUGの毎日の様子で記録に残している。</li> <li>HUGにて毎日記録を残し、保護者にも支援内容を共有している。</li> </ul>	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年に一度、児童によってはそれ以前にモニタリングを行い、計画を見直し・更新している。	

24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	その都度検討することができている。	
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	職員が介入し過ぎず、児童同士で考えて行動できるような支援内容を全員で考えられている。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達管理責任者だけではなく、その児童とよく関わっている職員が参加できている。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	毎月学校と様子の共有を行いつつ、支援方針を考えられている。	主治医との連携に難しさを感じており、方法を考えていきたい。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	毎月の共有時にその都度聞いている。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5	中高生が対象の事業所のため対象者がいない	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	毎年行っている。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	現実、連携する機会があまりない	必要がある場合は行う体制は整えている。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同法人の事業所と交流を行なっている。</li> <li>・地域の子どもとはあまりないが、イベントで大学の学園祭に行き、大学生と交流する機会はできている。</li> <li>・親力フェ（保護者が気軽に交流できる会）の後のプログラムでは、兄弟の参加ができる機会はある。</li> </ul>	年齢的なこともあります、交流プログラムを企画しても参加者がいないこともあった。内容は工夫していきたい。
33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	毎回、職員1人は参加することができている。	

34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	HUGを通して利用の様子をお伝えしている。久々の来所や本人に気になる様子があった場合には、電話やLINEでの連携、相談も行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親力フェスティバルを定期的に開催し、保護者同士が情報共有をすることができる環境を整えられている。その後で保護者と一緒に参加できるプログラムを用意できている。</li> <li>・親子ダーツなど、交流の機会を設けようとはしているものの、なかなか希望者が集まりにくいため、工夫が必要であると思う。</li> </ul>	機会は設けているが、より多くの保護者に参加してもらえるようなテーマを考えていきたい
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時におこなっている。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	その都度、保護者のニーズを確認している。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	契約時と半年に一度説明をおこない、同意を得ている。 半年に一度、計画を更新し、同意を得ている。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	電話やLINE、対面等で対応している。	
保護者への説明	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	定期的に親力フェスティバルを行っている。	
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	適宜共有している。	



応	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	その都度、ヒヤリハットを書いている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に研修に参加することができている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		必要に応じて対応しているが、今は該当の児童はない。